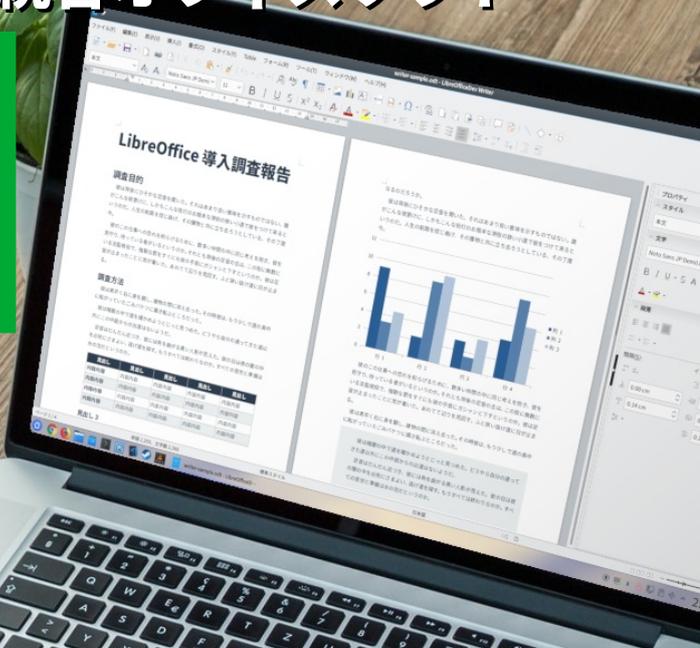


# 自由に使えるオープンソースの統合オフィスソフト



# LibreOffice

リブレオフィス



国際標準のファイル形式「ODF」採用。イギリス、台湾、イタリアなどの行政機関も使う世界が選んだ自由な統合オフィスソフト

## ✓ 仕事で学校で家庭で使える6つの機能

### ワープロ Writer

Writer は文書作成に必要なすべての機能を備えたワードプロセッサです。ビジネス文書から論文や書籍のような長文まで楽に美しく作成できます。

### 表計算 Calc

Calc は集計からグラフの作成、高度な分析などをこなす表計算です。ビジネスから学校、家庭まで必要とされる、すべての機能を備えています。

### プレゼンテーション Impress

Impress はプレゼンテーション資料が作成できます。画面効果やアニメーションを利用した魅力的なスライドが作成できます。

### ベクタードロー Draw

Draw はベクタードローツールです。ワープロでは作成が難しい図やテキストを自由に配置したチラシ、ポスターなどが簡単に作れます。

### データベース Base

Base はデータベースです。表計算では管理しづらい大量のデータを扱ったり他のデータベースに接続してフロントエンドとして利用できます。

### 数式エディタ Math

Math は数式エディタです。Writer や Calc, Impress/Draw と連携して数式の入力を補助します。

## ✓ いつでもどこでも自由に使える！

LibreOffice はどなたでも無償で利用できます。もちろんコピーして友達にあげる事も自由です。対応 OS も Windows, MacOS, Linux のほか Android 用の閲覧アプリやクラウド上で利用できる LibreOffice Online にも広がりあなたの利用場面に応じて、いつでもどこでも自由に使えます。



Windows



MacOS



Linux



LibreOffice  
Viewer



LibreOffice  
Online

↓ ダウンロードして使ってみよう！ → <https://ja.libreoffice.org/>



## 国際標準のファイル形式「ODF」採用

LibreOffice はファイル形式に国際標準の Open Document Format(ODF) を採用しています。ODF はイギリス政府や台湾政府が利用する標準ファイル形式として採用されているほか、各国の行政や公的機関などでも推奨ファイル形式として採用されています。

また ODF は独占企業による秘匿されたファイル形式ではなくオープンな標準規格です。LibreOffice 以外にも Microsoft Office や Google G Suite といった他のオフィスソフトでも利用も可能です。(利用できる機能や範囲は各ソフトにより異なります)

## 世界の言語に対応

LibreOffice は世界 115 の言語に対応しています。(2018 年現在)  
世界には少数言語と呼ばれる言語が多数あります。そういった言語でもオフィスソフトが利用できれば言葉の利用が促進され消滅に歯止めがかけられます。  
私達は少数言語の保護と母語の利用促進支援も目的の一つです。

# LibreOffice

ご存知でしたか？

## LibreOfficeの基礎知識

### The Document Foundation (ドキュメント財団)

The Document Foundation (TDF) (ドキュメント財団) は LibreOffice コミュニティにより設立されたドイツ・ベルリンを拠点とする非営利団体です。コミュニティの財務や法的なバックアップのために設立され、コミュニティと同様に独立した自治と民主的な運営を行う財団です。

## オープンソースで情報格差の解消

LibreOffice はオープンソースソフトウェア (MPL v2.0) です。友達にコピーしてあげることやソースコードを見て改造もできます。職場では面倒なライセンス管理をする必要はありません。そして無償で利用できます。世界には高価なためオフィスソフトの入手が困難な地域もあります。ライセンスや金銭的な事情などにより起こる情報格差を解消するため LibreOffice は無償かつオープンソースソフトウェアとして提供しています。

## コミュニティが作っています

LibreOffice の開発は、LibreOffice コミュニティによって行われ特定の企業などに主導されていません。コミュニティは、国や人種、性別、所属など関係なく「自由なオフィスソフトを作る」目的の元に集まった世界の人々により構成され、この目的に賛同する人であれば誰でも開発に参加できます。  
開発プロセスも過去の反省から、開発者が検証できるオープンで透明性のある開発プロセスによって進められています。

## コミュニティに参加しよう！～困ったことや相談はコミュニティに聞いてみよう～

LibreOffice コミュニティは、フレンドリーなコミュニティで誰でも参加できます。LibreOffice で困った時には Ask LibreOffice 掲示板や Telegram チャット、メーリングリストで尋ねてみましょう。きっと誰かが助けてくれるはずです。開発への参加もプログラムを作るだけではありません。開発版を使って見つけたバグを報告して信頼性を向上させたり、ユーザーインターフェイスやドキュメントの翻訳、ユーザーを手助けするサポート、デザイナー、マーケティングなど様々な分野で活躍の場所があります。

 Twitter: [https://twitter.com/LibreOffice\\_Ja](https://twitter.com/LibreOffice_Ja)

 Facebook: <https://www.facebook.com/LibreOfficeja>

 Ask LibreOffice(質問掲示板): <http://ask.libreoffice.org/ja/questions/>

 メーリングリスト: <https://ja.libreoffice.org/get-help/mailling-lists/>

 Telegram (チャット)  
<https://t.me/joinchat/EblSDgxiWG5aw2rifyn5PA>

